

2014年1月23日

《お知らせ》

K D D I
K D D I 研究所

KDDI 研究所がシリコンバレーのパブリックアートプログラムに技術提供 ～ 米サンノゼ市のオープンデータを分析しプロジェクションマッピングに活用 ～

KDDI研究所は、米サンノゼ市の「パブリックアートプログラム」にテクニカルスポンサーとして参加し、同市が提供するオープンデータを分析・活用するための技術提供を行います。

1984年から続くサンノゼ市の「パブリックアートプログラム」は、アートによって地域のアイデンティティを築くことを目的としており、今回 KDDI 研究所は本プログラムのうち、光や映像を使ったアートで街を彩ることをコンセプトとした「イルミネーティングダウンタウンプロジェクト」に参加します。

本プロジェクトでは、市内複数箇所でプロジェクションマッピングを展開することで、市内各所における市民・観光客の回遊活性化を長期にわたり目指します。NPO 団体である「ZERO1」(注1)がプロジェクトマネージャーとなり、プロジェクションマッピング技術を欧州アーティスト集団「ANTIVJ」(注2)が担当します。KDDI 研究所は、サンノゼ市の人の流れなどに関するオープンデータや、スマートフォン向け専用アプリを通じて市民が提供するデータを解析し、特に市民・観光客へ効果的に動機付けを行い行動の変化を促す「行動変容技術」などを本プロジェクトに提供する予定です。

これらにより、単なる映像演出にとどまらず、街やプロジェクト参加者の状況をインタラクティブに街に映し出し、街ぐるみで人の流れを変えようとする先進的な試みを目指しています。

KDDI および KDDI 研究所は、シリコンバレーの先進的なプロジェクトにおいて積極的に技術提供を行い、今後国内外で拡大が見込まれる行政機関等のオープンデータの分析・活用事業を強化していきます。

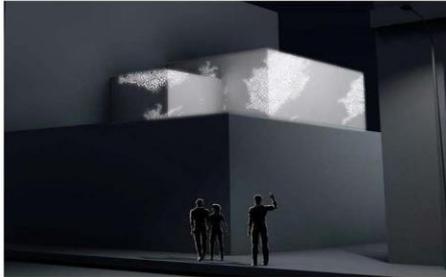
以上

- (注1) ZERO1: アートとテクノロジーを融合し、未来を形作ることを目的とした、米サンノゼ市に拠点を置くNPO 団体。世界中のアート、科学、デザイン、建築、そしてテクノロジーのそれぞれの分野のクリエイターとコラボレーションしている。
- (注2) ANTIVJ: ヨーロッパに拠点を置くビジュアルレーベルで、プロジェクションマッピングを得意とし、全世界で実績がある

【補足資料】

・プロジェクションマッピングを活用したサンノゼ市内回遊の活性化(実施イメージ)

人々の行動と連動したプロジェクションマッピングが
サンノゼ市内各所に映し出される



市民や観光客は日々の生活やスマホアプリを
通じて間接的/直接的にプロジェクトに参加



市内回遊
活性化

データの
映像化

サンノゼ市のオープンデータや
スマホアプリからのデータ

